



# 愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

No.46  
2016.11.1



市制10周年の  
決算はどうなった

草ひらっ子運動会(草平小学校) (あいさい写真クラブ提供)

人々が和み、  
心豊かに  
暮らすまち

<b>特集</b> 平成27年度決算審議 .....	2
9月定例会 主な議案質疑・討論 .....	4
審議結果と議員の賛否 .....	6
～市政を問う～ 一般質問 .....	8
取材しました!「あいさいわかば」 .....	14

12月議会の  
放映のお知らせ

会議日	内容	クローバーTV放映日時(チャンネル121)
12月6日(火)	一般質問	12月14日(水)午前10時～・午後7時～
12月7日(水)	一般質問	12月15日(木)午前10時～・午後7時～

発行/愛西市議会  
編集/議会広報特別委員会

〒496-8555  
愛知県愛西市稲葉町米野308番地  
TEL(0567)26-8111 FAX(0567)26-7141

平成27年度

# 決算審議

平成27年度一年間にどのように予算が使われたかを審議しました。合併して10年がたち、市政はどのように変化してきたのでしょうか。質疑応答の中から一部抜粋して掲載しました。

## 【総務関係】

### 庁舎建設費の返済計画は

Q 本庁舎の建設を終え、どのような返済計画を立てているのか。

A 平成24年度事業分から合併特例債として27年度まで毎年起債し、建設分として合計約27億円の財源を確保した。借入額により10年、20年償還の条件で借入れ、世代間負担の平準化にも努めた。公共事業整備基金からも約11億8千万円を事業へ充てた。元利の償還は27年度から始まっている。特例債の償還は、29年度にピークを迎える。

### 巡回バスの見直しは

Q 変更で、地域によって増減があるが理由は。また、今

後の見直しは。

A 佐織ルートなどは、店舗への乗り入れや増便で利用しやすくなり、利用増に。佐屋ルートは減少している。福祉センター利用者に免許所有者が増えているからではないか。

今後は、統合庁舎の完成で、乗り降りに大きな異動があると思われるので、一年間データを蓄積し、見直しを図っていく。

### 公共施設の管理計画は

Q 公共施設等総合管理計画策定事業について、中間報告は。また、完成予定はいつか。

A 現在、計画の策定委員会を設置し、平成27年、28年度の2力年で計画の策定を進め

ている。27年度は、施設類型別の現状の課題を把握し、整理した内容を計画の素案として取りまとめた。完成は、29年1月から2月になる。

## 【福祉・教育関係】

### 八開庁舎に移動した郷土資料

Q 八開郷土資料室が移転したが、資料の保存はどうなっているか。また、立田、八開、佐織の資料の統合は。

A 八開庁舎に移動した資料等は、鋭意整理を進めている。他地区の資料の統合については、施設の規模、民俗資料に必要な収蔵スペースなどから、統合は難しい。

### 児童クラブ利用者増加対策は

Q 夏休みのマンモス化につ

いて、全市的な対策は。

A 児童クラブのマンモス化解消のためには、民間児童クラブとの連携が不可欠。受け入れ人数の拡大など協力体制の強化を図りたい。

## 【産業・建設関係】

### 企業誘致成功するのか

Q 平成17年から企業からの問い合わせがあったのか、この企業誘致が成功するか今の予測は。

A どんな企業が応募してきているか県企業庁と情報を共有しながら、市にとってプラスになるように努力する。

## 【国民健康保険特別会計関係】

### 国保の県への統一の進捗は

Q 県への一本化に向けて、協議はどこまで進んでいるか。

A 保険税については、国保事業費の納付金、標準保険料率、市町村の算定基準に基づき保険料率といった事柄を元に、10月に試算すると聞いている。



▲企業用地造成現場(南河田町)

## 「公共下水道事業 特別会計関係」

進まない下水道建設どうする  
 下水の施設建設事業費が当初予算より大幅に減っている要因は。計画どおりに進まないことに対する対応は。

国の交付金が、市の要望額よりも少なかったため、一部を次年度以降に先送りした。平成28年度から下水道整備促進重点化事業と従来の通常事業に分けて交付金が交付されることになっている。重点事業を積極的に活用して事業を進めたい。

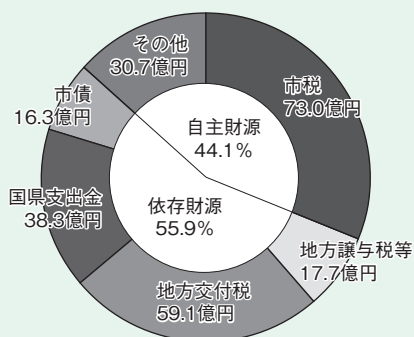
## 「市水道事業 特別会計関係」

県との契約水量削減交渉は  
 受水費について、県水の承認基本水量は、減らすよう取り組んでいるか。

少しでも下げていく方向で県・企業庁と協議を重ねていきたい。

## 歳入

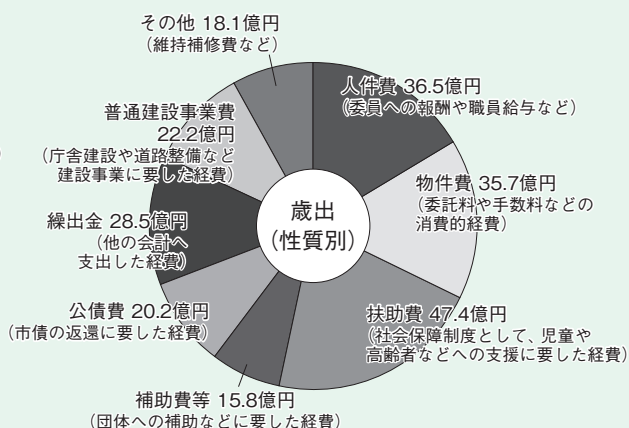
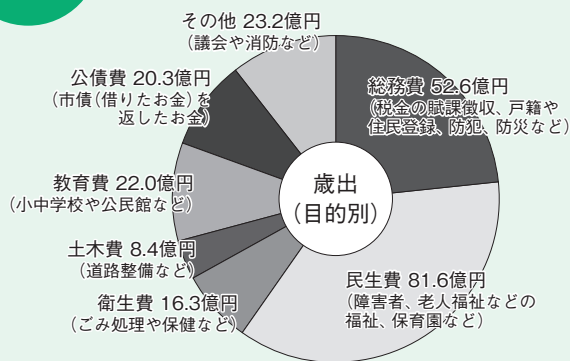
歳入決算額 235億1,364万円  
 (平成17年度は217億9,565万円)



市税 市民税、固定資産税などの税金  
 地方譲与税等 国や県が市の代わりに集めた税金などが一定の基準により配分されたお金  
 地方交付税 財源不足を補うために国からもらうお金  
 国県支出金 国や県に必要なだと認められた事業に対して、国や県からもらうお金  
 市債 施設を造るときなどに借りるお金  
 その他 施設の使用料など上記以外のもの  
 自主財源 地方公共団体が自主的に収入できる財源(市税、使用料など)  
 依存財源 国や県などの意思決定により収入される財源(地方交付税、国県支出金など)

## 歳出

歳出決算額 224億4,253万円  
 (平成17年度は203億4,423万円)



## 一般会計討論

### 賛成

厳しい財政状況の中、選択と集中の視点で事務事業の見直しと重点化を図った予算を執行した。

平成28年3月末から、4庁舎に分散していた行政機能が統合庁舎1カ所に集約され、利便性が向上した。今後、合併特例による交付税が段階的に縮減され、財源確保が難しくなる中、限られた財源を効果的に活用し、的確な財政運営と効率的な予算執行に努める必要がある。

### 反対

実質単年度収支は黒字約11億円。基金残高は約70億円。起債残高は実質27億円。市の財政状況は、将来負担においても良好だ。

防災マップの作成やがん検診の予約の改善などは評価できるが、高齢者の祝いの削減や小・中学校の卒業祝い品の見直しなどは賛成できない。

使用料や保育料の値上げの必要がないことも明らかだ。

## 9月定例会

### 条例の廃止・改正

■ 八開農業管理センターがコミュニティセンターに変わります。

Q 農家の方への影響は。

A 何ら変わらない。使用申請の受付は八開支所で、鍵の開け締めはシルバー人材センターへ委託する。

Q 補助金の返還は発生しないか。

A 県・国から承認を受けているので発生しない。

Q 防災機能は持つのか。

A 防災コミュニティセンターと同じように活用する。

Q 指定管理者制度の導入は。

A コミュニティ推進協議会を作ってもらい、時期をみて指定管理に移行したい。



▲八開農業管理センター

### 協議

■ 海部県民センター消費生活相談業務が市町村運営に代わります。

津島市に委託し、7市町村で共同運営するための協議が始まります。

Q メリット・デメリットは。

A メリットは経費削減であり、デメリットはない。

### 指定管理

■ 佐織総合福祉センター

公募は1団体でした。

・ 指定管理者

(株)サンケア

・ 期間

平成29年4月～32年3月

Q 保健センター部分の利用はどうなるか。

A 主に、乳幼児検診や相談事業、集団予防接種などに利用する。

Q 現在行っているデイサービスやサークル活動は、市の事業か。新介護保険制度の総合事業との関係は。

A 指定管理者の自主事業だ。総合事業開始後は、運動機能向上や認知予防等の介護予防の事業展開を考えている。

### 賛成討論

民間事業所は、施設などを自前で用意し、事業を行っているが、佐織総合福祉センターは、市が多額の指定管理料を支払い民間事業所が事業を行ってきた。また課題はあるものの改善が進んだので、賛成とする。

### 反対討論

福祉施設は直営ですべきと考えるので反対だ。

■ 永和児童館

直営から指定管理に変わります。公募は4団体ありました。

・ 指定管理者

れんこん村・技研共同体

・ 期間

平成29年4月～33年3月

Q 共同体で運営することに問題はなにか。

A 現在、体育施設と総合斎苑が共同体での指定管理となっており、問題ない。

Q 保育士の処遇改善が社会的問題となっている。指定管理料の上限額を決めるにあたり考慮したか。

A 処遇改善のことは考慮していない。他の指定管理の児童館等の人件費を参考にした。



▲永和児童館



# 補正予算

## ■ 一般会計(2号)

補正額 1億3千749万2千円  
 総額 201億8千445万1千円

### 【主な内容】

- ① 海南病院へ巡回バス乗り入れ試行運転(4ヶ月分)
- ② 旧松永邸の解体工事
- ③ 佐屋保健センターの外壁改修工事
- ④ 市江小学校トイレ改修工事
- ⑤ 佐織公民館の漏水対策改修工事 ほか

### ▽巡回バス海南病院乗り入れ

**Q** 海南病院への乗り入れ試行を決めた理由は。

**A** 社会福祉協議会の買い物支援バス実施の際のアンケートで88・7%の人が「病院に行くとき利用したい」と答え、二ノズがある。

**Q** 「病院に行くとき利用したい」とは、総合病院だけではなくかかりつけ医も指して

いるのではないかと。

**A** 100%否定できない。

**Q** 内容は。

**A** 市役所と病院停留場のシャトルバスを、朝7時半前後にスタートしたい。15人乗りで1日100人を予定し、日祝日は運行無しで途中の停留場も考えていない。

**Q** 稲沢市は、勝幡駅に乗り入れをしている。平成24年6月には、津島市は駅と市民病院への乗り入れを了解していたのが、28年まで市は何をしてきたのか。

**A** 結果的に反映されなかった。早期実現可能で利用の多い海南病院に最終的に決めた。市民病院への乗り入れは、海南病院の試行実績を踏まえて考える。



▲巡回バス

### ▽松永邸の解体(早尾町)

**Q** 解体の理由と、今後の活用予定は。

**A** 老朽化による一部崩壊。利活用は決まっていない。

### 賛成討論

・小学校トイレ改修、中学校の非構造部材耐震化など必要である。海南病院への乗り入れは課題があるが反対はしない。

・海南病院へのバス乗り入れは市民の強い要望であり、市のPR映像作成費、ふるさと

応援寄付金返礼品の充実も適正な支出だ。火葬炉修理も緊急性を要するものである。

### 反対討論

市は、津島市との交渉をせず、海南病院への巡回バス乗り入れを決めたことは、津島市民病院利用者との公平性において問題だ。根拠に使ったデータにも問題がある。更に、総合病院への乗り入れは、かかりつけ医推進運動に逆行し、社会の流れに反するので賛成できない。

## 公共下水道事業特別会計補正予算(1号)

補正額 247万9千円  
 総額 18億3千26万9千円

## 意見書

全員賛成で、議会から国や県に対して提出することが決まりました。

■ 国の責任による福祉・保育人材確保対策を求める意見書

■ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

■ 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

■ 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

## 後期高齢者医療特別会計(1号)

補正額 229万3千円  
 総額 316万4千円

## 介護保険特別会計補正予算(1号)

補正額 1千89万6千円  
 総額 46億968万9千円

## 農業集落排水事業特別会計補正予算(1号)

補正額 247万9千円  
 総額 10億1千274万9千円

# 平成28年9月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成 ●：反対

議案	審議結果	新生愛西クラブ								愛西クラブ					日本共産党 愛西市議団			公明党 あいざい		無所属	
		鷲野 聡明	島田 浩	石崎 たか子	八木 一	鬼頭 勝治	大島 一郎	神田 康史	杉村 義仁	近藤 武	山岡 幹雄	堀田 清	大宮 吉満	大島 功	大野 則男	真野 和久	加藤 敏彦	河合 克平	竹村 仁司		高松 幸雄
八開農業管理センターの設置及び管理に関する条例の廃止	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
市江地区コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○	
消費生活相談等の事務の委託に関する協議	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
佐織総合福祉センターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○	
永和児童館の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○	
平成28年度一般会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
平成28年度農業集落排水事業等特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	●
平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○
平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○
平成27年度農業集落排水事業等特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
平成27年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	●
平成27年度水道事業会計決算の認定	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	欠	○	○
国の責任による福祉・保育人材確保対策を求める意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	

※議は議長で採決に加わっておりません。欠は欠席です。

※審議結果の表示は、(可)可決 (否)否決 (同)同意 (適)適任 です。

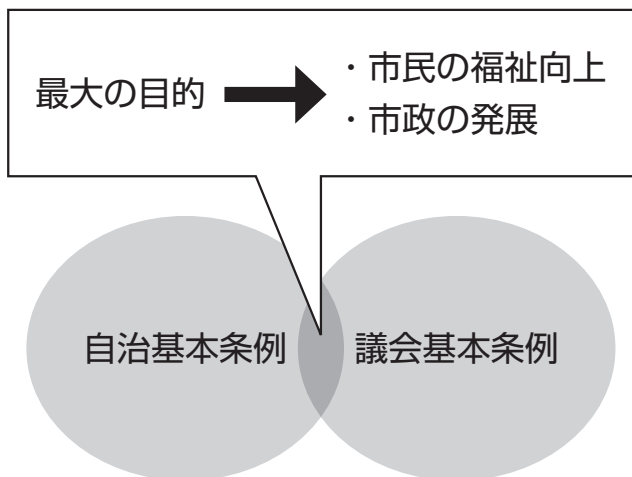
# 「議会活性化協議会」

## 議会基本条例制定へ協議始まる。

議会基本条例とは、議会のあり方や地方議会運営の基本原則を定める条例です。

国と地方自治体をとりまく環境が大きく変化の中で、議会が市民の信頼にこたえ、市民参加や協働により、福祉の向上・未来へとつながる豊かなまちづくりのための条例となるように議論を進めています。

活性化協議会では、平成22年8月から議会改革を進める中、ひとつずつ課題を話し合い、現在、第33回まで積み上げてきたものを反映し、制定作業に取り組んでいます。



▲議会基本条例のイメージ

## 議会広報研修会に参加

7月29日アイリス愛知にて

議会広報の基本と編集技術を学ぶ

23市町村の議員ら約140名が集まり、議会広報についての良い点、改善点を点検確認し、今後の編集活動に活かすための研修に参加しました。編集の目安として

- ① 目的に沿った企画・編集になっているか
- ② 読みやすく分かりやすい内容になっているか

『愛西市議会だより』については、「表紙は子どもはみな世界遺産」という考えで、運動会、入学式、卒業式など子どもを中心に載せると、読者は心を開き、読んでみようという紙面に入っていくやすい」「具体性のある見出しがほしい。例えば平成28年度の予算の特徴を示す目玉事業の動向を見出しにして読者を誘導したい」「賛否の討論も議員名を載せると分かりやすい」「住民登場の常設企画がほしい」などの指摘を受けました。

市民にもっと読んでもらえるように、こうした指摘を活かしていきたいと思えます。



## デ・レーケ記念交流レガッタ大会

去る平成28年9月11日(日)に、岐阜県長良川国際レガッタコースにて開催されました、第21回デ・レーケ記念交流レガッタ大会に、愛西市議会からAチームとBチームの2艇が出艇しました。

結果は、Aチームが準優勝、Bチームが3位入賞の好成績を収めることができました。





河合克平 議員

愛西市の財政状況を問う

**問** 税金というのはため込むものではなく、今いる人たち、今生活をしている人たちのために住民サービスをして返していくべきではないかと考える。平成27年度の決算の内容で基金の状況は。

**総務部長** 南海トラフ地震などの災害時の復旧や地方債の償還等、おのこの基金の目的に対し財源を確保し、将来にわたる市政の健全な運営に資するためのものだ。借入金残高も勘案すると、現状の基金残高が必ずしも過大な規模であるとは考えていない。

**問** 27年度決算で70億円の基金がある。市民1人当たりの平均は、約10万円となる。多いか少ないかわかりづらい。近隣自治体や、県内の各自治体の平均は。

**総務部長** 26年度では、津島市2万7千100円、弥富市4万7千900円、あま市5万2千700円、稲沢市2万800円、蟹江町3万3千500円、飛島村97万1千400円だ。県内54市町村の住民1人当たりの平均は2万9千600円、愛西市は8万7千500円で、

順位は9番目に多い。

**問** 起債(借金の金額)は。

**総務部長** 27年度の決算では27億4千万円、住民1人当たりでは34万8千500円だ。

**問** 起債のうち、地方交付税で措置される借金の残高は幾らか。

**総務部長** 残高に措置率を掛けると、多く見積もって、約195億円の交付税措置が見込まれる。

**問** 差し引きすると30億円近くが、直接的な市の財政からの負担になる。交付税を財源としながら、今の市の財政力を市民サービスの向上に充て、市の運営に生かすことを考えていかなければならない。市の財政運営について、見解は。

**市長** 市政運営に地方交付税も大きく寄与している。財源の一つと認識し、有効的に活用している。

愛西市	平成27年末
基金(預金)	70億8,000万円
地方債(借金)	227億4,000万円
国からの交付	▲199億8,400万円
実質負担分	27億5,600万円
預金と負担の差	43億2,400万円

▲愛西市の預金と借金の状況



大野則男 議員

事業決定に対するチェック機能は

**問** 公共事業を進めるうえで、決定までのプロセスと内部のチェック機能は。また、優先順位など今までの現在の違いは。

**八開塩田道路改良事業で、決定までのプロセスと内部でのチェックは。代替案を含め安価で、より効果的な方法を考へての採択か。総合計画になく、なぜ平成27年度の計画に唐突に入れたのか、不自然な計画ではないのか。**



▲塩田交差点

**産業建設部長** 道路工事での土地取得の手順は、地元要望を受け、道路改良の必要性、緊急性、事業効果を検討し、あわせて国・県の補助金の採択要件に合つか確認する。事業採択が決まれば、用地測量、道路設計を行い、道路用地として必要な部分を用地買収する。用地買収金額は、不動産鑑



## 市内4地区で期日前投票所を

**問** 佐屋地区の期日前投票率が15.63%、これは八開地区の投票率の2.07倍。佐織地区の1.9倍で大きな開きがある。投票所のあり方に問題があるかと考えるが、選挙管理委員会としてどう考えているか。

**総務部長** 投票率については全体としてみるべきと考えている。そこで開きがあるわけではない。

**問** 公職選挙法はどうかあったか。

**総務部長** 人口、地勢、交通等の事情を考慮して、期日前投票所の効果的な設置、選挙人の便宜のため必要な措置を講ずるものとする一文が加えられた。

**問** 現在一カ所の期日前投票所の拡大をすべきだと考えるが、市の考えはどうか。

**総務部長** 選挙管理委員会として現状にあくまで固執するものではないが、選挙管理者や立会人の確保、職員の体制・管理執行上の問題点等、ク

リアしなくてはならない事項が数多くある。

## 市民の戦争体験の記録の保存を

**問** 8月の平和祈念式の講演では「平和を願って」と題して、勝幡町の大宮久子さんが太平洋戦争の体験を話された。市民の戦争体験の作文や絵を募集して、市として保存し、若い世代に残していく取り組みをしたらどうか。

**市長** 戦争の悲惨さを次世代に伝え、二度と起こらないような社会をつくっていくという事は誰しもが願うことであり、市として、若い世代に対して、そういったことを伝えることを今後も進めていきたい。

その他、佐織庁舎の跡地に公園の設置を要望。

定を行って決定している。

八開塩田交差点改良事業は、26年6月に地元の要望が出され、現場等を確認し、道路改良の必要性、また国・県の補助事業、採択要件に合うかの確認をして判断し、事業化している。北側道路の見通しが悪く交差点も近い。一体的に改良することで、安全でスムーズな通行ができると判断した。

**問** 愛西版の特区内で防災・防犯も優先順位を定め、まちづくりを進めるべきでは。駅前整備で佐屋・永和、特に佐屋駅は優先課題として話してきたが進捗を尋ねる。

**市民協働部長** 防災・防犯について、地域の特性を重視した災害対策を心がけるようにしており、本年度の防災訓練は8月28日に目比川決壊から40年となる佐織の勝幡地区を中心に開催した。

犯罪は減少傾向にあるが、防犯協会・地元自治会などと、市内での犯罪が起きないように啓発する。防犯力メラについては、犯罪が多く発生する予想があれば、犯罪防止の対策の一つとして検討する必要があると思う。

**産業建設部長** 佐屋駅については、鉄道事業者側が7月上旬に来庁し、「社内調整中であり時間がほしい」とのことだった。



加藤敏彦 議員



▲平和祈念式



鷲野 聡明 議員

次期市長選への出馬は

**問** 市長として三年四九月、一期目の市政運営はどうであったかの感想を尋ねる。

**市長** 施設使用料の改定、水道料金の見直し等、市の将来を見据え苦渋の決断をしてきた。今後も実行に移していく。

我々、現役世代が現状のサービスを見直すことなく享受することで、いずれは将来の世代が苦しむことになるという思いのもと、覚悟を決め、その都度、議会や市民との対話に意を用いながら事業・サービスのあり方を根源から問い直し、改革の推進を図ってきた。

**問** 次期市長選挙への出馬について、どう考えるか。もし第二期を考えるのであれば、どのような市政運営をしていく思いがあるのか。現時点で話せる範囲で見解を尋ねる。

**市長** 来年の愛西市長選挙で再度、市民の皆様から負託が得られたならば、第一次総合計画という新たな旗を掲げ、その実現に向け、全力で取り組んでいきたいという決意だ。

今後の市政運営は一段と厳しさを増してくると思うが、厳しい現実にも決して目を背けることなく、不転換の決意でこの難局に当たる覚悟をしている。

私はこれまで、「進める決断」と「とどまる勇氣」の基本姿勢において、たとえ批判を受けても「進めるべきは進めるべき」であり、「とどまるべきはとどまるべき」ということを述べてきた。この初心を忘れることなく市政運営に当たっており、今後も同じような考えで進めていきたい。

市民協働を進めるにふさわしい市役所で、持続可能でよりよい愛西を目指し、その責任を果たすため、市民とともに、時代に合った新しい自治体の役割をしっかりと果たしていきたい。



▲答弁する市長



山岡 幹雄 議員

保育士不足の現状と課題は

**問** 保育の需要が高まり、保育士の確保が現在困難な状況である。市内の保育士の現状は。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 市内の公立、私立保育園とも求人を出しても応募が少ない。配置基準の保育士を確保するのに苦慮している。

**問** 保育士不足の直接の原因は。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 保育士資格取得のハードルが高く、資格を取得しても保育士の職につかない。

**問** 保育の仕事を取り巻く環境の変化は。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 園児と直接かわる現場以外に、年間カリキュラムをもとに、日案、週案、月案を作成、幼児期における質の高い学校教育、保育の提供がある。保育においても教育的な側面が強まり、保育士が対応する子どもや家庭の状況が多様化、複雑化している。



高松幸雄 議員

### 成年後見制度とは

**問** 成年後見人とは、物事の判断能力が不十分な人の財産管理や契約行為を本人にかわって行い、保護する人のことをいい、この制度として法定後見制度と任意後見制度があるが違いは何か。

**健康福祉部長** 法定後見制度は、親族等が家庭裁判所に後見人等の選任を申し立て、家庭裁判所が後見人を選任する制度で、任意後見制度は、本人が判断能力のあるうちに後見人をみずから選び、事前に委任契約を結んでおく制度である。

**問** 成年後見人に支払われる報酬はどのように決められるのか。また、報酬を支払うことが困難な人の助成金制度はあるのか。

**健康福祉部長** 成年後見人の報酬は、本人の財産から相当な報酬を後見人に支払うことになり、その報酬の額は、家庭裁判所が決定する。低所得者で成年後見制度の利用が困難な場合、施設入所の人は月額1万8千円まで、その他の人には、月額2万8千円までを限度として助成される。

### 学校や公共施設の防犯対策強化を

**問** 市内の学校および公共施設にある防犯カメラの設置状況および、学校に不審者が侵入した際の通報システムは導入しているか。また、民間のボランティア団体での青色パトロールはあるか。



▲名鉄佐屋駅駐輪場の防犯カメラ

**市民協働部長** 防犯カメラは市内21施設に123台設置してある。民間ボランティアでの青色パトロールは、日置町の防犯パトロール隊が実施している。

**教育部長** 通報システムは導入してないが、夜間や学校休業中は、警備業務委託をしている。また、市内全校の日常業務中は門扉を閉めて不審者が容易に侵入できないようにしている。そして、近隣で発生した不審者情報は、緊急情報のメール配信をして学校と保護者へ通報を行っている。

**問** JR永和駅は自転車やバイクのいたずら等が多発している。最低限、駅周辺の駐輪場には防犯カメラが必要でないか。

**市民協働部長** 防犯カメラの設置は必要性、犯罪発生の状況を踏まえて判断していく。

**問** 保育士の確保対策は。

**市長** 子どもが安全で安心して通える保育園、幼稚園づくりを行い、国の指導を仰ぎながら努力していく。

子どもの年齢	保育士の配置人数
0歳児	概ね3人に保育士1人～
1、2歳児	概ね6人に保育士1人～
3歳児	概ね20人に保育士1人～
4、5歳児	概ね30人に保育士1人～

▲国が定めた保育士の配置基準

### 自治会への活動支援補助を

**問** 自治会の要望は年度当初ではなく、来年度の要望調査は行えないか。

**市民協働部長** 前年度に要望調査をするという考えはない。

**問** 道路・側溝清掃補助金として、清掃1mについて300円、きれいなまちづくり事業補助金で1人あたり150円以内の活動費が出ている地区がある。自治会支援活動費として補助ができないか。

**市民協働部長** 自治会への活性化補助金や地域づくり交付金、まちづくり交付金として、助成金を設けている例もあるが、市は導入しない。



近藤 武議員

子育て支援の現状は

**問** 保育園・幼稚園・認定こども園を運営する民間事業者と、そのサービスを利用する子育て家庭、それぞれに対しての市の支援策は。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 民間の幼稚園・保育園に対して、勤務職員の処遇向上・保育等の内容充実に要する経費に充てることのできる「運営費補助費」と障害児受け入れの保育士・幼稚園教諭の加配に要する人件費に対して「障害児保育対策費」の二種の市単独補助を行っている。また、私立幼稚園就園奨励費補助金の国助成対象外の方への市単独助成もを行っている。

子育て家庭に対しては、国で定めた保育料より低く設定し、平成26年度実績で、弾力徴収率は、43.2%と、県内で四番目に低い数値で、保護者に対する負担軽減を図っている。

**問** 保育所運営の現在の状況と今後の課題は。

**子育て支援プロジェクト担当部長** 私立保育園・幼稚園は、他市町村の園児を多数受け入れ、定員を維持している園がある。公立保育所は四園とも

定員割れをしている。

少子化傾向の中、民間との競争を避け、官民共存の道を選択すべきと判断し、公立保育所について、その役割・機能を明確化させ、定員および施設配置の適正化・民間活力の導入について検討し、方針の策定を進めている。



▲佐織保育園

市民に対する健康施策は

**問** 健診事業の取り組みと成果は。

**健康福祉部長** 特定健診については、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図るためにデータヘルス計画を策定し、保健事業を行っている。がん検診については、26年度からの取り組みにより、受診率が向上し、特定健診・がん検診とも県・海部津島の平均よりも高くなっている。また、健診後の対応として、「要医療」と判定された方への生活状況の聞き取りと、改善へのアドバイスを行っている。



真野和久議員

介護保険「総合事業」への対応は

**問** 来年度から要支援1・2の予防給付は、市町村が担うことになるが、要支援1・2の訪問介護、通所介護サービスが現状どおり維持されるのか。

**福祉部長** 基本的にサービスの対象は、国の基準を参考にし、現行相当のサービス、あるいは対象者の状態を踏まえながら、緩和をした基準によるサービスへの移行という形で進めていく。

**問** 現行のサービス相当の場合をしっかりと進めていくことが重要だ。緩和した基準によるサービスは、内容の低下や賃金など介護従事者の地位の低下につながるようなことはないか。対策は。

**福祉部長** 現行相当のサービスは、身体的介護および常時見守りが必要な人に提供をしていく。一方で、緩和をした基準によるサービスは、身体的介護の必要がない利用者に対して提供をしていく。利用者の状態に応じて、サービスが利用できるようにケアマネジメントをしていく。

事業所に対して研修会や情報交換の場を計画したり、初回加算や運動器の機能向上加算など、必



取材しました!

## 児童発達支援事業所「あいさいわかば」を訪ねて

今回は立田第2社会福祉会館内にある「あいさいわかば」にお邪魔し、鈴木智佳子所長に伺いました。

Q. まず、児童発達支援事業所とは何ですか?

A. 障害児通所支援事業のひとつで、発達に不安や心配のあるお子さんを学校就学前までの支援をする施設です。

Q. 「あいさいわかば」の目的は何ですか?

A. 親子のふれあいを基本とした療育プログラムを通して親子の関係を深めたり、基本的な生活習慣を身につけ、集団生活に適応できる基礎づくりを応援することです。

Q. 利用の対象になる人は?

A. 心身の発達やことばに遅れがあると思われる未就学のお子さんが対象になります。

Q. 療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳がなくても利用できますか?

A. はい。障害児通所給付費支給申請を専門家の意見書などと一緒に提出し、利用の必要が認められれば、受給者証が市から発行され、通所の申し込みができます。

Q. どんなサービス・支援を受けられますか?

A. 親子で通所する母子療育が火曜から木曜、子どもだけが通所する単独療育が月曜と金曜に行なわれます。また、言語聴覚士や作業療法士などの専門的な指導や、臨床心理士による発達検査の支援が受けられます。

Q. 費用と問い合わせ先は?

A. 受給者証を取得すると、1割の自己負担でサービスが受けられます。所得や年度により多少違いますが、1回の利用は705円、世帯収入によって上限が設けられています。詳細は当事業所か、保健センターまたは児童福祉課へお問い合わせください。(山岡・高松取材)



## 平成28年12月定例会の開催日程 (予定)

12月定例会は、

**11月29日(火)から12月22日(木)**

までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

11月29日(火) 本会議(第1日)

12月 6日(火) 一般質問(第2日)

12月 7日(水) 一般質問(第3日)

12月12日(月) 本会議(第4日) 議案質疑

12月14日(水) 総務協働委員会

12月15日(木) 福祉消防委員会

12月16日(金) 建設文教委員会

12月22日(木) 本会議(最終日) 討論・表決

### 編集後記

暑かった夏もようやく終わり、過ごしやすい季節となりました。

今年は、熊本地震と阿蘇山の36年ぶりの爆発的噴火があり、また、多くの台風が発生して、各地域に甚大な被害をもたらしました。

この地域では、目比川の決壊から40年を迎えることもあり、改めて災害に対する意識を高めてくださるようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会では、市民のみなさんに親しみやすく読みやすい紙面づくりを心がけています。

「議会たより」について、何かお気づきの点がございましたら、お知らせください。

ご意見やご感想をお待ちしております。よろしくお願ひ申し上げます。

(山岡 幹雄 記)

委員長 高松 幸雄

副委員長 山岡 幹雄

委員 八木 一

委員 真野 和久

委員 吉川三津子

委員 近藤 武